

補足スライド

『2. 人間と労働』および  
『3. 社会と労働』への補足[1.5] どの人類社会にも共通な  
経済活動を考える意味現在の観点から  
過去と未来とを位置付ける

## 何をやっていないの？

- 昔話がしたいわけではない。
- それどころか、むしろ、  
ここで明らかにされる  
“どの人類社会にも共通な経済活動”は、  
前近代的共同体では  
十分に発揮されなかった。
- それどころか、むしろ、それは  
未来社会でこそ、  
十分に発揮される。

## 何をやっているの？

- そもそも、  
どの人類社会にも共通な経済活動は、——
- 前近代的共同体を考察してもわからない。  
∵ 経済活動がそれ自体として現れていないから。  
【⇒「1. はじめに」参照】
- 現代社会を考察してはじめてわかる。  
【⇒後述】

人間の解剖は  
猿の解剖への鍵である(1)

- 最も発達した（最も諸契機が分化した）  
ものの考察によって、初めて、  
まだ発展していないもの  
（諸契機が分化していないもの）  
の意義が明らかになる。
- 完成したものがその必然的である。
  - 未来社会こそが社会の必然的な完成であり、  
現代社会はこの完成への  
必然的な通過点である。

人間の解剖は  
猿の解剖への鍵である(2)

- 人間という最も発達した——進化の頂点にある  
——生命を基準にして、他の生命を位置付ける  
ことができる。
- ≒ それと同様に
- 現代社会という、最も発達した社会を考察して  
初めて、どの人類社会にも共通な経済活動——  
過去・現在・未来を結ぶもの——の意義も  
明確になる。
  - ただし、生命の進化と違って  
社会の進化はまだ完成してはいない。

## なんのためにやってるの？

- 現代社会の特徴を考えるために
  - どこが同じなのか
  - どこが違うのか
- 現代社会の未来を考えるために
  - どこから来て
  - どこに進むのか

### 現代の洞察が過去の意義を明確にする

- すべての人類社会  
（前近代的共同体を含む）に共通する点も  
明らかになる。
- ↓ それを通じて、
- 動物集団と人間社会との違いも  
明らかになる。
- 前近代的共同体の意義も明らかになる。

### 現代の洞察が未来への展望を開く

- 人類社会における経済活動は  
どこに向かっているのか、
- 現代の資本主義的市場社会はこの傾向を
  - どのようにして実現しているのか  
（現代社会の肯定的・一般的な存在理由）、
  - どのようにして阻害しているのか  
（現代社会の否定的・特殊的な被制限性）。
- 現代の資本主義的市場社会は、  
未完成ではあっても、  
完成の方向を明らかにしている。